

環境心理生理運営委員会 2008年度第4回
議事録（案）

日時：2009年3月16日 18:00～20:30

場所：東京工業大学キャンパスイノベーションセンター

出席者：主査 大井尚行

委員 讃井純一郎，山中俊夫，小島隆矢，大野隆造，西名大作，宗方淳

議事

議事録確認 メール配信済 メール会議については各委員了解済みとする

報告事項

1. 環境工学本委員会報告（第4～5回の内容はメールで配信済み，3/16開催の第6回について）

1) 2009年度建築学会大会について

例年とプログラム編成方針は変更無し，プログラム編成委員を3月末までに推薦。

活発な議論になるよう司会は配慮するようという文言について議論があった。

研究協議会はバリアフリーに関する内容。

2) 地球環境委員会から，ビジョン2050（建築関連団体との共同）に関する意見募集

3月末を目途に何かあれば提出する。

3) 環境工学実験用教材，環境工学用教材改訂の現状報告，順調に進展しているとのこと

4) 特別研究委員会（佐土原主査）に関する報告

5) 論文集委員会委員等の指名

論文集（槇），技術報告集（西名），総合論文誌→倉淵先生，災害委員会→赤林先生

6) 井上勝夫委員長の2年間のまとめ

小委員会の自己点検，アカデミックスタンダードの推進，細分類・細々分類の見直し，

研究懇談会の開催，環境工学用教材の推進などを進めてきた。

次期委員長は久野 覚先生

2. 各小委員会の活動報告

1) ヒューマナイズ小委 研究会を2回実施

2) 感覚・知覚心理小委 第5回，第6回の2回のシンポを開催，1月の小委で総括

3) 環境心理小委 チュートリアルセミナーの実施，3/26に小委を開催予定

審議事項

1. プログラム編成会議（4/28）委員について

あまり旅費がかからないよう要求されているので，首都圏のなるべく若い方に出席していただくよう調整する（高橋，辻村，稲生，小野，上野，小野，古賀さんら）。

2. アカデミックスタンダード・マトリクスについて

運営委員会委員で討議し，既存のマトリクス（平成13年版）を一部修正した。

3. 2008年度予算執行について

環境心理小委で余剰が生じていたが，3/26の小委開催で支出予定。他は問題なし。

4. 2009年度運営委員会について

現在のメンバーに，高橋，合掌，村松さんの3名を加える方向とする。

5. 2009 年度予算について

各委員会の予算が下記の通りで了承された。

環境心理生理運営委員会	146,000 円
ヒューマナイズ小委	10,000 円
感覚・知覚心理小委	150,000 円
環境心理小委	83,000 円

6. 2009 年度に向けての各種活動計画案

大井主査から、予算を獲得できるよう活動の活性化が求められた。

1) チュートリアルセミナーについて

今回の大会日程を考慮して検討する（3.5 日であれば最終日の午後に実施可能）。

学生向けの企画と実務者向けの企画の両方を検討する（OS が実践なので）。

2) 計画系との合同発表会について

大野先生に計画系での根回しをお願いする。

当初は、あまり手を広げず、環境行動小委員会との合同を検討する。

過去に 5~6 回開催しているので、何故、継続しなかったのか理由を含めて調査し、今回の企画立案に役立てる。

3) 建築経済系、施設の公共性 WG について

WG の最後に環境心理系と共催でシンポを開催する方向（来年度 10 月頃を予定）。

当該 WG の後継 WG を、環境心理生理運営委傘下に置く方向で検討中。

以上